

インナー大会プレゼン部門 2017 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報に記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) センシュウダイガク	フリガナ) ケイエイガクブ	フリガナ) イチノミヤゼミナール
専修大学	経営学部	一ノ宮ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) チームオムライス	フリガナ) ワカイヨウ	5	無
チームオムライス	若井稜		

※プレゼンツールを使用する場合は記入してください。記入がないプレゼンツールは大会当日使用できません。

使用するプレゼンツール (具体的に使用するツールを明記してください)

研究テーマ (発表タイトル)

宅配便×大学生～再配達削減を目指して～

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

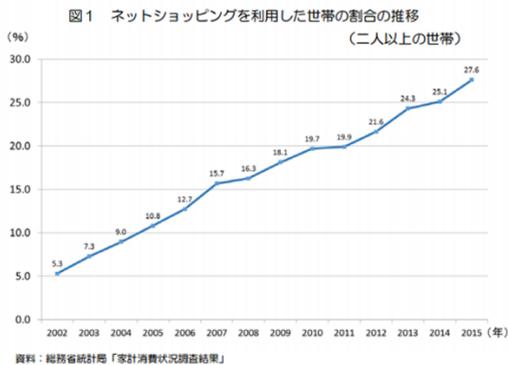
研究目的は、大学生の視点から再配達を削減する為のシステムを提案することである。

現在、再配達の増加により宅配業界は酷使され疲弊している。環境にも影響を及ぼしている。それらの問題を解決するために、普段のゼミ活動の輪読で培った読解力や発想力で大学生視点ならではの案が生まれるのではないかと考えた。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

インターネットの普及により、通販サイトでのネットショッピングの利用者が増加している昨今の宅配業界では数多くの問題がある。人手不足、二酸化炭素の排出量、キャパオーバーによる事業所のパンクなどがありその原因の一つとしてあげられるのが再配達である。現状として宅配便の荷物の約二割が再配達になっているのである。

そんな再配達の解決策として宅配業者は宅配ロッカーやスマートフォンを利用した取り組みを行っているが、未だ革新的な解決策は導き出されていない。



3. 研究テーマの課題

通販サイトの利用が増えたことと、ライフスタイルの変化により、宅配便を一度で受け取ることが難しくなり、再配達が問題となっている。本テーマの課題は再配達を減らすこと、つまり宅配便を一度で受け取る利用者を増やすことである。一度で受け取るためには、宅配便のラストワンマイルが重要となる。そのため、利用者に対し、利便性の良い新しいシステムの導入が必要である。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは、課題解決策として身近な利用者である学生に焦点を当て、新しい宅配便受け取りシステムを考えた。宅配便の受け取りは自宅で受け取るほかに、宅配業者の営業所止めにして、利用者自ら取りに行く方法もある。しかし、営業所の立地などにより、営業所に立ち寄ることが難しいという問題がある。そこで、私たちは学生が利用者ということから、大学キャンパス内で宅配便を受け取るシステムを作れば、一度で受け取れる可能性が高まり、再配達の削減につながると考えた。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

まず、学生が対象となっていることから、専修大学生 522 人に通販サイトの利用率や、不在届を受け取る頻度などのアンケート調査を行った。そこから、大学で受け取れるシステムがあれば利用するかなどのアンケート調査を行い、そこから大学内で受け取るシステムの提案に至った。また、このシステムの運用には運送業者の協力も必要不可欠となるため、運送業者への取材も行った。

6. 結果や今後の取り組み

今回はこのシステムの実施までは至らなかったが、学生にこのようなシステムがあった場合、利用したいかという調査を行ったところ半数以上が利用したいと回答した。また、運送業者の方からも、大学で受け取るシステムがあれば便利だという回答をいただき、このシステムの有用性は高いと考えられる。まずは専修大学での実験を行い、利用率が高いことが分かれば他大学等でも取り入れていこう、働きかけたい。

7. 参考文献

【Web サイト】

関西大学産学連携情報

<https://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/pressrelease/2014/No7.pdf> (4月20日)

国土交通省 宅配の再配達の削減に向けた受取方法の多様化の促進等に関する検討会

<http://www.mlit.go.jp/common/001106397.pdf> (5月18日)

宅配の再配達の発生による 社会的損失の試算について

<http://www.mlit.go.jp/common/001102289.pdf> (5月18日)

ヤマト運輸株式会社

<http://www.kuronekoyamato.co.jp/ytc/customer/> (6月8日)

PUDO ステーション

http://www.packcity.co.jp/our_service (7月6日)

佐川急便

<http://www.sagawa-exp.co.jp/> (8月23日)

日本郵政

<https://www.japanpost.jp/> (8月23日)

専修大学 HP

<https://www.senshu-u.ac.jp/about/campus/ikuta.html> (9月20日)

【書籍】

楡周平「再生巨流」新潮文庫 (2007)

角井亮一「物流大激突 アマゾンに挑む宅配ネット通販」SBクリエイティブ (2017)

横田増生「仁義なき宅配: ヤマト VS 佐川 VS 日本郵便 VS アマゾン」小学館 (2015)

齊藤実「物流ビジネス最前線」光文社 (2016)

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会・東京経済大学大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経 BP マーケティング社様に作製していただく大会結果 HP に本企画シートは掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7 以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4 ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4 サイズでプリントし、4 ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の(過去に他誌・HP などに発表されていない)ものに限り、ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経 BP 社・日経 BP マーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先(使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など)を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合は同様に明記してください。また、Web サイト上の資料を利用した場合は、URL とアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※プレゼンツールを使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを 4 ページ以内におさめて、提出してください